

きぼうたなぶ のうぎよう委員会だより

No.76
平成29年8月1日発行
広報アテナ委員会
8月号2017

花卉部会員が育てる3,000本の小菊が並ぶ

京田辺市の農業といえは、田辺なす・えびいもなどが有名ですが、花卉（かき）部会があることをご存じですか。花卉部会は南部の普賢寺地域を中心に、主に小

菊など仏事用の花を栽培・販売しています。きれいに並んだ約3,000本の小菊の背は120cm以上。部会員は、需要が高まるお盆時期に花が咲くように育てます。



玉露だけではない京田辺茶づくり

京田辺の特産品である、日本茶の最高級品「玉露」。その品質の高さは全国でも定評がありますが、この茶葉と全く同じものを使って、抹茶の原料となる「碾茶（てんちゃ）」へと加工していることをご存じですか。

碾茶とはなんなのか、抹茶とはどのようにしてできるのかをご紹介します。

碾茶

てんちゃ

抹茶のもと



碾茶は、収穫の30日以上前から茶畑に覆いをかけ、日光を遮って育てる「被覆（ひふく）栽培」により、じっくりとうまみを蓄えた新芽を使います。これは、玉露と同じ茶葉で、加工方法の違いによって分類されていきます。

てんちゃ ひ まっちゃ
碾茶は石臼で碾く前の抹茶のもと



三山木地区にある碾茶工場

碾茶の加工は、①茶葉を蒸す ②専用の機械で天井付近まで吹き上げて冷やす ③190度前後の熱風でパリパリに乾燥する。玉露はしっかりと蒸した後に針のような形にするための揉みの工程が続きます。この加工方法の違いにより、全く別の商品へとなるのです。



碾茶は出荷した後、石臼などで粉末状にされ、おなじみの抹茶となります。

碾茶の「碾」は、挽臼を表す字です。文字どおり石臼で挽いた粉末が抹茶となります。碾茶は原料であるためそのまま市販されていませんが、玉露のように飲むと、香ばしい風味が加わった独特のうまみが味わえます。



本記事は作業工程などを省略しています。詳しい内容は京都府ホームページなどで紹介しています。



加工作業は5月中旬から6月上旬まで毎日続きます。熱風によって、工場内はサウナのように熱がこもっています。

今号のプレゼントクイズ商品は京田辺産抹茶をプレゼント!

今回紹介した碾茶工場で作られた碾茶のみを使用した高級抹茶をプレゼント!ふるってご応募ください。



Present Quiz 4面へ

農業委員・農地利用最適化推進委員が決定



農業委員会等に関する法律の改正により、農地・農業を守る両輪として、農業委員と農地利用最適化推進委員が決定しました。

農業委員会会長
林 善嗣
はやし よしつぐ

会長就任にあたって

この度、京田辺市農業委員会会長に、再度推薦をいただきました。今回、法律の改正により、農業委員に加え、農地利用最適化推進委員が誕生し、これまで農業委員27名で活動していた委員会が、両委員を併せた25人体制となります。地域の農地・農業を守り、「儲かる農業」を目指すためには、両委員が役割を担いながらも連携を密にし、共に地域農業の推進役であることが必要不可欠であると感じています。

本市には、北陸新幹線の延伸という明るいニュースがある一方で、アメリカが抜けたTPPの行

方、米の生産調整制度の廃止など、農業を続ける農家にとって非常に厳しい状況です。担い手不足で農地の保全管理すらままならない農地も少なくない現状で、一般市民からは都市化を進めながら緑地としての農地を守っていくことが期待されています。

このように様々な課題があるなかで、我々農業者自らが柔軟に考え、従来からの米主体の農業から、いかに儲かる農業を実行し、実現できるかを熟考する時期ではないかと思えます。

本市の農業が、産業であるためには、非農家も含めた地域で

培ってきた人と人とのつながりを最大限に活用し、なす、えびいも、玉露に次ぐ各集落の特性を生かした特産品を生み出すのも、正解のひとつではないでしょうか。果樹、花卉の生育など様々な挑戦から、京田辺市の風土に適した農作物を育てられる環境を、次世代に継承していく責任があるのではないかと考えます。

地域農業者や地域住民を巻き込んで耕作放棄地が発生しない環境づくり、子どもたちに希望を持って就農してもらえるように、皆様の協力を得ながら、積極的に活動したいと考えています。

任期終了まで大切に保管してください。

(平成32年7月19日)

農業委員会事務局

☎0774-64-1368



こんな時は農業委員会で
手続きが必要です。

- ✓ 所有権を移転したい
- ✓ 農地以外(駐車場など)に転用したい
- ✓ 貸し借りをしたい。解約したい。
- ✓ 農地の地目変更(田から畑)・形状変更したい
- ✓ 農小屋を建てたい
- ✓ 農地を相続した

ほか、農地に関する手続きは、事務局へご相談下さい。



農業委員会では、こんな活動も行っています。

- ✓ 農地借り手探しのお手伝い
- ✓ 除草指導・違反転用指導
- ✓ 農地パトロール
- ✓ 産業祭 活動PR



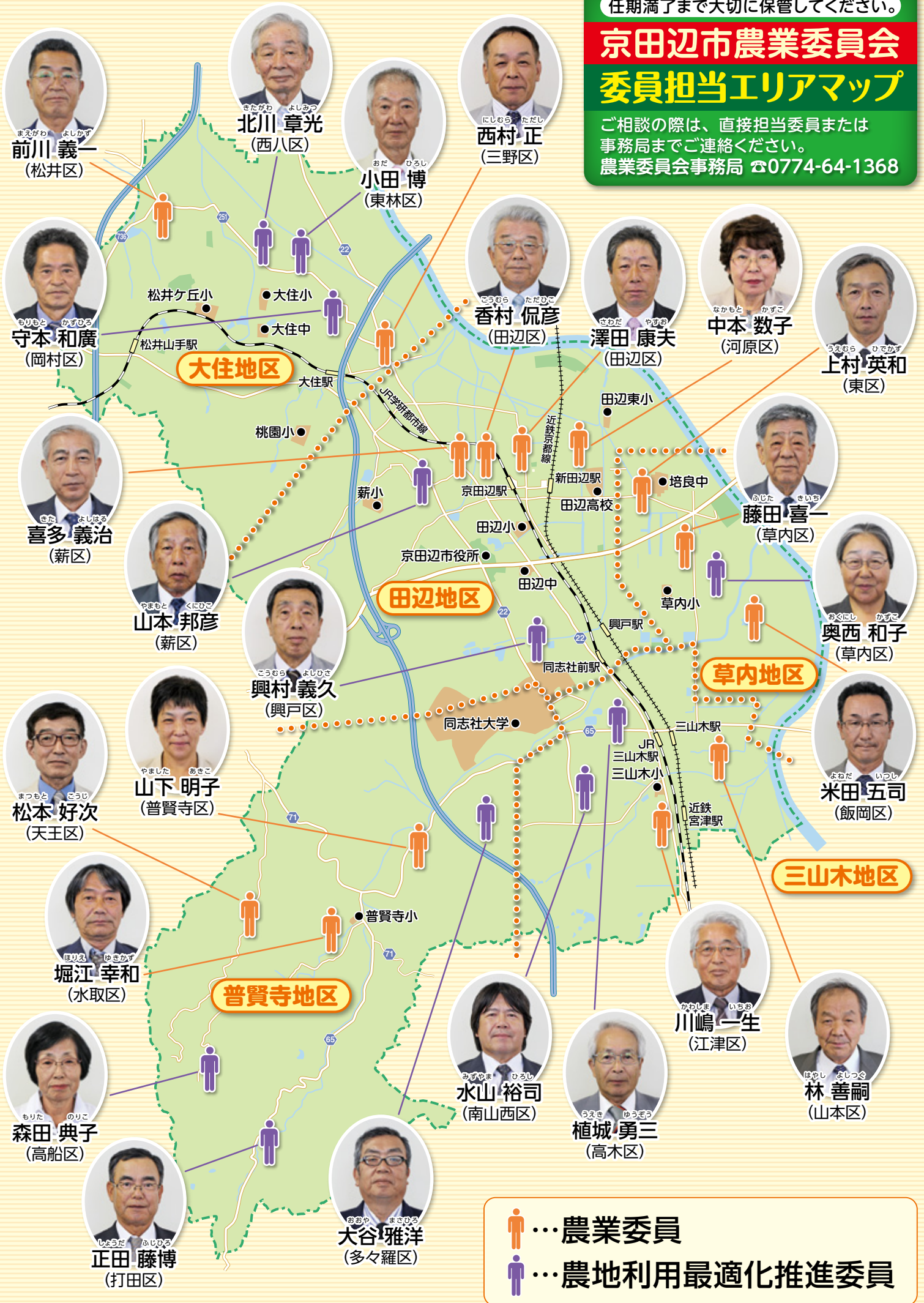
- ✓ レモンプロジェクト



遊休農地を整備し、レモン等かんきつ類を育てて未来の特産物をつくるプロジェクト。6次産業化で儲かる農業を目標に活動しています。

任期満了まで大切に保管してください。

京田辺市農業委員会 委員担当エリアマップ

ご相談の際は、直接担当委員または
事務局までご連絡ください。
農業委員会事務局 ☎0774-64-1368



 … 農業委員
 … 農地利用最適化推進委員

もちふわの食感 米粉パウンド ケーキ



材料 (1本分)

- 卵 4個 とかしバター 80g
- 砂糖 80g 牛乳 150cc
- 米粉 80g
- ホットケーキミックス 200g

今回のレシピは、材料を混ぜてオーブンに入れるだけ。かんたんなのに、おいしい一品です。(奥西和子委員)

作り方

- ① ☆をミキサーで混ぜる
- ② 混ぜたら、米粉・ホットケーキミックスを追加してミキサーで混ぜる。
- ③ 耐熱容器にオリーブオイルを塗る。



④ 混ぜたたねを容器に入れて、オーブンで(180℃・30~40分)焼く

⑤ オーブンに入れる前に、レーズン、ドライフルーツ、さつまいも、りんごなどを入れるとさらにおいしくなりますよ



広報アンケート

Q&A No.1

本紙プレゼントクイズでよせられた感想の中で、質問のあった内容にお答えします。

Q1



のうぎょう委員会だよりを回覧で読んでいます。どこかで手に入れられますか。

A1

本紙は、①市内の農家へ全戸配布②各世帯へ全戸回覧しています。また、市役所をはじめ下記公共施設などへ置いていますので、ご自由にお取り下さい。

- ・京田辺市役所
- ・北部住民センター
- ・中部住民センター
- ・中央公民館
- ・中央図書館
- ・にこにこ市
- ・普賢寺ふれあいの駅



市ホームページにも掲載しています。



Q2



私は道の駅などで地元の農作物を買うのが大好きです。市内に売っている場所がありますか？

A2

過去に紹介した直売所です。

フレッシュ大住朝市

北部 (フレスト松井山手店内)
火・土・日 午前10時から

にこにこ市

中部 (JR三山木駅南側)
不定休 午前9時30分~午後4時

普賢寺ふれあいの駅

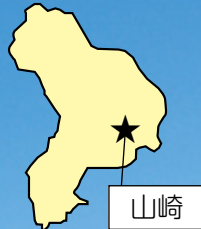
南部 (大御堂観音寺南側)
火・水・木・土・日 午前8時~午後3時

第一、第三土曜日は、JR京田辺駅前のアルプラザ京田辺店で出張販売。





山崎地区



前山崎地区農業委員
中川 陽司 さん

三山木駅を見下ろす丘陵の集落

山崎地区は、JR三山木駅と近鉄三山木駅の西側にある小高い丘陵台地を中心に広がっています。平成8年に始まった三山木地区の区画整理事業で、商業地化・宅地化が進み、現在のよう

な活気ある駅前となり、通勤・通学にも便利な場所になりました。駅から地区内を通る丘陵の坂道を登っていくと、古墳を神社化した山崎神社（＝写真）があり、地区の信仰を集めています。また多くの弥生式土器が出土されたことから、昔から人々が生活を営むのに適した場所であったことがうかがえます。



木々に囲まれた山崎神社の境内には、立派な社が鎮座しています。

見渡すかぎり田園でした。肌で感じる四季の移り変わりや夏の蝸・蛙の鳴き声などを懐かしく感じます。日々になじやかな景色に変わっていく反面、地区内の農地は激減し、農家も半減しました。地区として守るべき農地を見定め、私も父親から受け継いだ農地を次の世代に託していけるよう、引き続き頑張りたいと思います。



JR三山木駅構内から撮影

茶枝の盗難に注意してください!



新芽が収穫前に切り取られています。

毎年5月初旬頃、三山木地区の茶園で収穫前の玉露用茶枝が刈り取られる窃盗事件が発生しています。ご注意ください。

プレゼントクイズ

2ページ目で紹介した

京田辺茶葉 100%使用 **抹茶40g** 5名様

今号のクイズ

抹茶のもととなる加工されたお茶は?

答え 茶

ひらがなでもOK

○に入るクイズの答えと、住所・氏名・年齢・電話番号・のうぎょう委員会だよりへのご意見・ご感想を書いて、メール・郵送・持参で応募してください。クイズの正解は、次号で発表します。

応募期限=平成29年8月31日(木)まで(当日消印有効)

発送予定時期=同29年9月

郵送先=農業委員会事務局(〒610-0393〈住所不要〉、

✉: nougyo@city.kyotanabe.lg.jp)

件名には「農業委員会クイズ」と記入してください。

前回の正解は賞を受賞

編集後記

農業委員 喜多 義治



これまで、京田辺市で新しく生活を始めた方々に、「村」シリーズで農村の様子を伝えてきました。農業委員会の改選にあわせ、本紙も次号から新しいメンバーでスタートします。さらに魅力ある紙面で市農業を活性化させたいと考えています。